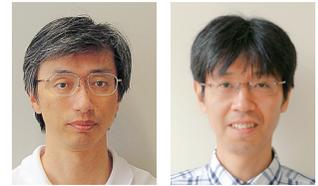


木造住宅の耐久性向上に資する 住まい手との情報交換ツールについて

(研究期間：平成30年度～)



建築研究部 構造基準研究室 主任研究官 宮村 雅史 (室長) 森田 高市 (博士(工学))

(キーワード) 木造住宅、外皮、評価方法

4.

地域創生・暮らしやすさの向上

1. 背景と経緯

住宅瑕疵保険の事故の中で防水事故の割合は9割を超えており、雨水浸入および結露対策は木造住宅の耐久性を確保する上で極めて重要な課題である。

国総研では、産学官連携の共同研究(合計24機関)を5年間にわたり実施し、木造住宅の劣化を防止するため雨水浸入や結露に伴う劣化要因と外皮の仕様の選択方法や施工方法についてのガイドラインと、住まい手向けのツールを公表している。

(<http://www.nilim.go.jp/lab/hcg/kokusouken-siryu.htm> 「長持ち住宅ガイドライン」で検索可)

2. 住まい手向けのツールの概要

本ツールは、以下に示す4種類により構成される。

①長持ち住宅の選び方 (Webサイト、図1)

長寿命・省エネ・健康・安全な住宅の選び方をWebにより分かりやすく解説

②長持ち我が家を築く！造り手との情報交換ツール

住まい手から造り手へマイホームの要望を伝え、候補となる住宅の仕様や性能を把握するための表計算ツールを作成 (図2)

③住まい手のための材料・部材選択シート

耐久性を確保する上で重要な材料・部材の項目を解説し、推奨材料を選択するためのシートを作成

④住宅外皮重要ポイントチェックリスト

天井・外壁・バルコニー・床下の各種の構法、材料・部材の納まりや品質を解説

3. 各種ツールの評価と改善方法

住まい手向けの4つのツールの使い勝手を評価し改善するため、住宅供給団体に委託して、以下の項目についてチェックの上、使いやすさを改善した。

①判りやすさ、②削除・追加すべき項目、③正確性、

④公平性、⑤WebのLink状況、⑥国総研Webサイトの利用度、⑦検索結果の上位度、⑧ツールを開く所要時間、⑨住宅供給団体からの要望・意見

4. まとめ

4つのツールに対して、使い勝手の評価を実施し、その結果を反映することにより、より使い勝手の良い住まい手用のツールを開発している。

長持ち住宅の選び方

図1 長持ち住宅の選び方(Webサイト)

図2 長持ち我が家を築く！造り手との情報交換ツール